

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【公開番号】特開 2019-151094 (P2019-151094A)

【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2018-198982 (P2018-198982)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/377 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 3 0 1

B 4 1 J 2/01 3 0 3

B 4 1 J 2/175 5 0 3

B 4 1 J 29/00 A

B 4 1 J 29/377 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 8 日 (2021.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体を吐出して記録媒体に記録を行う記録ヘッドと、
前記記録ヘッドを支持した状態で一方向に往復移動されるキャリッジと、
前記キャリッジの駆動源及び前記記録ヘッドを含む駆動対象に電力を供給する電源ユニットと、
を備え、

前記電源ユニットは、前記キャリッジよりも上方に位置し、その少なくとも一部が前記キャリッジの移動領域と上面視で重なるように配置されていることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記移動領域よりも下方から前記記録ヘッドに前記液体を供給する液体供給経路を備え、

前記液体供給経路は、前記電源ユニットの下方を経由して前記記録ヘッドに前記液体を供給することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記液体供給経路は、前記電源ユニットの下方を経由し、前記電源ユニットの上端の高さ位置を経た後、下方に湾曲して前記キャリッジに接続されることを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記電源ユニットは、鉛直方向において前記キャリッジの待機位置と重ならない位置に配置されていることを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 3 のうちいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記電源ユニットの上方には、原稿の画像を読み取る画像読取部が配置され、
前記電源ユニットと前記画像読取部との間には、断熱部材が配置されていることを特徴とする請求項 1～請求項 4 のうちいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記電源ユニットの下面には、前記電源ユニットで発生する熱を放熱する放熱部が設けられていることを特徴とする請求項 1～請求項 5 のうちいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記キャリッジの上端部には、前記一方向と交差する方向に延びるリブが設けられていることを特徴とする請求項 1～請求項 6 のうちいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記電源ユニットは、前記一方向における前記キャリッジの移動領域の端部と対応する位置に配置され、少なくとも下面及び前記キャリッジの移動領域の前記一方向における中央部側の側面が遮蔽されていることを特徴とする請求項 1～請求項 7 のうちいずれか一項に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記電源ユニットは、前記遮蔽されている面以外の面に外部と連通する開口を有していることを特徴とする請求項 8 に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記電源ユニットは、内部の空気を前記開口から外部へ排出するファンを有していることを特徴とする請求項 9 に記載の記録装置。

【請求項 11】

前記電源ユニットは、外部の空気を前記開口から吸引するファンを有していることを特徴とする請求項 9 に記載の記録装置。

【請求項 12】

記録装置は装置後部に前記記録媒体を供給する供給部を有し、
前記開口は前記供給部側に配置され、前記ファンは前記供給部から空気を吸引することを特徴とする請求項 11 に記載の記録装置。

【請求項 13】

前記記録ヘッド、前記キャリッジ、及び前記電源ユニットを収容する装置筐体をさらに有し、

前記電源ユニットは、前記筐体に設けられた接続部から延びた電源入力ケーブルが、前記開口を通じて接続されるコネクタを内部に備えることを特徴とする請求項 9 に記載の記録装置。